

# 市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO. 208

2018年7月31日  
日本共産党  
新潟市議会議員団  
電話 025-226-3450  
FAX 025-223-7748

## 小中学校普通教室へのエアコン設置、生活保護世帯への夏季加算の新設などを求める

### — 日本共産党市議団が緊急要請 —

日本共産党新潟市議団は27日、小中学校普通教室へのエアコン設置と生活保護世帯への夏季加算の新設などについて、市教育長と市長に対し緊急要請を行いました。申し入れには、風間ルミ子前市議と鈴木映・中央区青年雇用対策責任者も参加しました。

### 小中学校の全教室へのエアコン設置を早急に

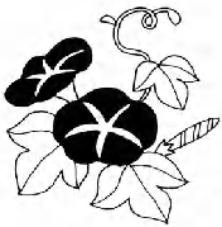
猛暑が連日続くなか、愛知県豊田市で小学校1年の男子児童が熱中症で死亡した事故を契機に、小中学校におけるエアコン整備の遅れが全国的に大きな問題になっていきます。



市教委に小中学校へのエアコン設置を申し入れる市議団ら

新潟市の市立小中学校の普通教室のエアコン設置率は11・6%と、全国平均の49・6%と比べても著しく遅れています(平成29年4月1日現在、文科省調べ)。そもそも、新潟市には普通教室へのエアコン整備計画がなく、学校施設整備指針では、保健室、図書室、コンピューター室などの管理諸室や特別教室にエアコンを設置するとしており、普通教室へのエアコン設置は航空騒音または交通騒音対策のために必要な学校に限られています。

市議団は、地球温暖化の下で、教室の暑さ対策は、児童生徒の健康管理面のみならず生命に関わる喫緊の課題となっていると指摘。菅官房長官が「来年のこの時期に間に合うよう、政府として責任を持つて対応したい」と表明していることから、市立小中学校の全教室へのエアコン整備計画を直ちににつくり、エアコン設置を早急に進めること、関係予算枠の拡大と補助率の引き上げを国に強く求めることの2点を要請しました。



「小学校低学年から段階的な整備を検討」と副市長  
対応した木村勇一副市長は、「国の動向を注視しながら、体力のない小学校低学年の教室から段階的な整備をふくめて検討したい」と答弁しました。



### 生保世帯のエアコン電気代等に充てる夏季加算の新設を

異常な猛暑が続く中、室内でも熱中症で多くの死者が出ています。

生活保護世帯はエアコンの保有を認められており、その購入や設置について貸付制度や支給制度がありますが、それに伴う電気代については何もありません。生活保護世帯は、保護費が年々引き下げられるなか、光熱費を節約せざるをえない状況になっており、エアコンはあるが電気代を節約したために熱中症で倒れる事態も起きています。

市議団は、暑さ、寒さは、生活保護受給者にとって特に命の危険をもたらすもので、寒さ対策について

は、暖房費分を考慮した冬季加算があるが、夏季加算はその必要性について過去に何度も検討されてきたにもかかわらず、いまだに実現していないと指摘しました。

また、新潟市には、かつて法外援護として夏期・年末見舞金がありました。したが、事業仕分けによって廃止されたままになっています。

市議団は、猛暑のもとで、生活保護受給者の健康と命を守る対策として、①国に対し、生活保護費の夏季加算の新設を求めること ②市独自の施策として、法外援護の夏期・年末見舞金を復活することの2点を申し入れました。

### 西日本豪雨災害の救援募金に取り組みました(11日)



7月11日新潟駅前募金を訴える市議団ら

### 市議団の日程

- 7月30日(月)～8月1日(水)  
総務常任委員会行政視察  
環境建設常任委員会行政視察
- 8月2日(木)～3日(金)  
大学とのパートナーシップ協定ワーキンググループ行政視察
- 8月6日(月) 原爆死没者慰霊祭